

# 破天荒

教宣部

4960号

2013年  
10月18日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合

## 交渉とか 譲り合いとか

秋闘も二度目の団交を行いました。やる気が微塵も感じられず、これで売り上げを伸ばそうなんて気があるとすれば凶々しいの一言ですな。

左から右へ

前回の交渉でコストのわからないものの検討はどうなったのか？と尋ねました。

社長には伝言してくれたそうなのですが、駄目だったと。左から右へ伝えるだけが仕事なら派遣でもできるよね？それで労務管理は忙しいなどとよく言えるものだと呆れました。

歴史が語る

お金のかかるものの交渉



上げる気はあるのか？と聞いても無言のままです。

説得の壺

相手を説得する気があるのなら言葉を変え、見方を変え、多角的な視点で説明するのだと思うのですが、何せ熱意が微塵も感じられず無駄な時間を労務担当のエキスパートな人たちと過ごしてしまいました。

成長するには

工夫する・視点を変える。これGCの標語ですが、



あるものでやりくりする。どうしたらできるか考える。これを実践してこそ今以上の力が発揮できると思うんです。特別休暇の半日消化なんて、一日の特休が二回の半特休消化に変わるだけ(おはじき一個が半分に分かれたおはじき二個に変わるだけ)：それでも管理がし難くなるという感覚がモチベーションの低下に繋がっていくのだろう。

雨の恐ろしさ

伊豆大島で数十年に一度の大雨が降り大きな被害を及ぼした。ここまでは行かないが、私も雨で痛い目に遭ったことがあります。

学生時代黒部ダムの上流の黒部湖の周囲を歩いていたら、ポツリポツリと雨が降ってきて次第に激しくなり大雨に変わりました。目的地まで黒部湖に注ぐ小川を数ヶ所横切らなければいけません、ほとんど水量が増え最後に横切る川はあまりの水量の多さにもう対岸に渡れないそんな恐怖心が起こったほどです。

10分以上上川に沿って上流に向かい歩き水量が少なく飛び渡れそう場所を思い切って飛び渡り難を逃れたことを思い出しました。

自然の脅威の前に人の力はちっぽけなものだと思ひ知らされ時でした。

## DはEではない

このままエンジン化を進めても良いのか・・・と疑問。

エンジンは民生品のメーカー、電子は工業製品、客先は全く異なる。民生品を売る感覚で工業製品を扱うことはできない。クレームへの対応ひとつにして全然違ってくる。

エンジンが理想形として事業部制が導入されてもつす

に東野にある寿司屋で、会社と上司の悪口で愚痴っていたチームがあった。おそらくチームEの人だったと思う。

今の電子には信頼関係を構築していくことが必要でしょうな・・・。

